

# 安威川ダムJV通信



安威川ダムJV  
Vol.4

発行：大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発 特定建設工事共同企業体 安威川ダムJV工事事務所一同

## topics

### 工事現場トピックス

1月15日現在、**ダムサイト**への仮橋が完成しました。




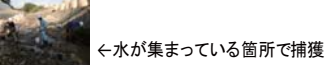

ダム堤体の掘削を進めています。



十二月二十四日から十二月二十五日、安威川ダム左岸の堤体掘削に伴い、安威川に生息する魚類・底生動物等の保護・避難を実施しました。  
これは工事を進めるにあたって、安威川のルートを変更する必要があり、元の河川内に取り残されてしまう多くの生物を保護・避難する事を目的で、大阪大学環境サークルG.E.C.S、NPO法人nature worksおよび府立水生生物センターで実施しました。  
結果としてオオサンショウウオは確認できませんでしたでしたが、全体としては魚類を四百四十九個体、エビ・カニ・貝類九十九個体を保護・避難の安威川上流へ移動することが出来ました。

安威川にて  
生物保護・避難を実施！

## 魚類・底生動物等の保護・避難の方法

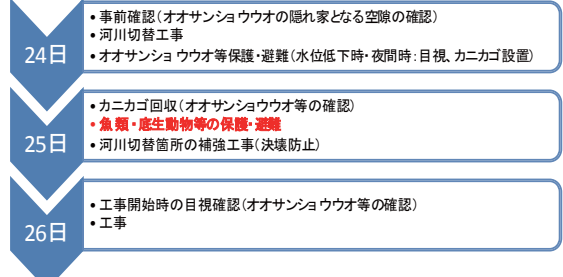
- ① 礫下や水たまり部に集まっている魚類等をタモ網を使ってバケツに入れる。  
・ナマズやコイ等の大きな魚類は、他の生き物と別にする  
・カジカガエルなどの両生類は、落ち葉を入れたバケツ又は土嚢袋に入れる  
 ←バケツに入れる  ←水が集まっている箇所で捕獲
- ② 水深の深い淵については、ポンプにより排水して、魚類等を保護・避難  

- ③ 採捕が困難な大きな石等の空隙部においては、コンプレッサーにより洗出すか、または、重機で大きな石を動かして確認
- ④ 種類と個体数を記録して放流

## 河川切替に伴う魚類・底生動物等の保護・避難について

### 【保護・避難の目的】

法律・条例指定種の生息を確認し、保護・避難する。また、工事後の生物相が早期回復するように、「タネ」となる重要種等の生物の保護・避難を目的とする。

### 【保護・避難の全体のフローと、本作業の位置付け】



花嶋 義人 はなしまよしと  
大林道路 株式会社

### 現場の達人 vol.4

毎号リレー方式で、安威川ダムJV工事事務所の「現場の達人」を紹介します。

はじめまして。大林道路の花嶋義人と申します。現在、安威川ダム建設工事の現場では仮設のアスファルト舗装やダムを盛り上げていく採石を運搬する為の道路の整備などを行い、当現場の動脈である『物を運ぶ道路』を作る工事を担当しております。工事期間が六年と長いので、なかなか出番が来ませんが、出番が来れば、周辺の取付道路などを整備し、地域住民の皆様が『気持ちよく走れる道路』を作っていきたいと思っております。今後とも、安威川ダム建設工事につきましてご理解のほど、宜しくお願いします。



ダム工事を支える重機たち

## 【今月の重機】

この重機は三十六トン、アーティキュレートダンプトラックです。以前、紹介した二十五トン、アーティキュレートダンプに加えて今月から稼働しています。



一度に二十四立米の土砂の運搬が可能であり、車両は六輪駆動で走行します。地盤が悪く、急傾斜の走路にも対応することができます。

安威川ダムファンづくり会で立ち上げた総合情報サイトが公開されています。  
URL: <http://www.aigawa.jp/>



平成二十七年二月の「安威川ダムJV通信」いかがでしたか？

今月は十二月に実施した場内でのオオサンショウウオ等の保護・避難を中心にお知らせいたしました。  
今回の調査では、残念ながらオオサンショウウオを発見するに至りませんでした。安威川ダムJVは環境にも配慮した施工を続けていきますので、今後ともご協力のほど宜しくお願いします。

大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発  
特定建設工事共同企業体  
安威川ダムJV工事事務所一同